

熊本大学医学部附属病院 泌尿器科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

泌尿器科全般において、診療の基本を習得し、専門医認定資格を取得できる。具体的には、3年次に熊本大学医学部附属病院、4年から7年次は熊本大学医学部附属病院を含めた日本泌尿器科学会認定教育施設で修練し、専門医受験資格を取得する。また、希望者は大学院へ進学し、学位を取得する。

2. 研修目標

【一般目標】

泌尿器科全般において、基本的診療を行えるようになる。

【行動目標】

日本泌尿器科学会認定専門医を取得する。

3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	関連施設	大学院			大学病院		
B	大学病院	関連施設		大学病院		関連施設		
C	大学病院	大学院				関連施設		
D	大学院				関連施設		大学病院	

4. 評価

熊本大学医学部附属病院と、各関連施設の日本泌尿器科学会認定指導医と連携を取り、泌尿器科医としての経験が十分修練できるように指導を行うことにより、評価をする。

5. 募集人員 5名

6. 実施責任者 医局長 高橋 渡

7. 指導責任者 教授 江藤 正俊

8. 関連施設、学会認定状況

日本泌尿器科学会基幹教育施設：熊本大学医学部附属病院、済生会熊本病院、国立病院機構熊本医療センター、熊本中央病院、熊本市市民病院、熊本赤十字病院、熊本労災病院、水俣市立総合医療センター、熊本泌尿器科病院、天草地域医療センター

日本泌尿器科学会関連教育施設：八代総合病院、荒尾市民病院、公立玉名中央病院、川野病院

9. その他

泌尿器科は外科系、内科系という範疇を超えて、腫瘍、排尿障害、感染症、尿路結石、内分泌疾患、腎機能障害、腎移植、小児泌尿器科など多彩な専門分野で活躍できる診療科である。特に最近では、高齢者の増加に伴い、排尿障害や泌尿器癌が急速に増加しており、QOL を重視した腹腔鏡や尿路内視鏡を用いた低侵襲治療や、分子標的薬をはじめとする最新の抗癌剤治療、新たな作用を持つ排尿障害治療薬・性機能障害治療薬や最新の前立腺内視鏡治療など、最先端の医療を実践することができる。さらに、血液浄化療法部とともに人工透析療法やブラッドアクセス手術、その他腎移植に至るまで幅広く腎不全に対する治療を経験することができる。

当院で、上記研修終了後には全員専門医を取得している。また、大学院進学後、基礎研究を行い、学位を取得するものも多い。また、激増する腹腔鏡による低侵襲手術に対応し、泌尿器腹腔鏡手術認定医の育成にも力を注いでいる。

泌尿器科医は全国的にも絶対数が少なく、需要に追いついていないため、多くの専門医養成を目指している。また、女性泌尿器科医の重要性も最近指摘されており、積極的に専門医養成を行っている。

10. 連絡先

医局：096-373-5240（代）、e-mail：urology@kumamoto-u.ac.jp（医局長 高橋）